



おいしい米

2021/06/18

づくり情報

第8号 生育中期の管理編

庄内総合支庁 農業技術普及課

Tel. 0235-64-2103

**6月18日現在、目標茎数は確保されています！
茎数を確認し、遅れずに作溝・中干しを開始！**

◎気象・生育概況

6月第1～3半旬は、気温が高く（過去5か年平均 +1.0℃）、日照時間は多く（過去5か年平均比 113%）経過した（鶴岡アメダス）ことから、6月18日現在の生育は、草丈は平年並、茎数は平年並～やや多く、葉数は平年よりやや多く、目標茎数を確保している。

一方、深めの水管理やワキ対策が不十分な一部圃場では、生育量が不足している。

表1 生育診断圃の生育（6月18日調査、庄内普及課作況圃）

| | 項目 | 草丈(cm) | 茎数(本/m ²) | 葉数(葉) | 葉色(SPAD) |
|--------------|-------|--------|-----------------------|-------|----------|
| はえぬき (矢馳) | 本年値 | 31.6 | 484 | 8.2 | 35.0 |
| | 平年値 | 33.2 | 491 | 7.9 | 37.7 |
| | 平年比・差 | 95 | 99 | +0.3 | -2.7 |
| つや姫 (上清水) | 本年値 | 34.3 | 439 | 8.2 | 39.2 |
| | 平年値 | 34.4 | 394 | 7.9 | 40.3 |
| | 平年比・差 | 100 | 111 | +0.3 | -1.1 |
| 雪若丸 (長沼) | 本年値 | 32.3 | 508 | 8.4 | 45.7 |
| | 指標 | 32.4 | 472 | 8.2 | 43.4 |
| | 指標比・差 | 100 | 108 | +0.2 | +2.3 |

※平年値:過去5年平均値

◎適期に遅れずに作溝・中干しを開始！

1 中干しの開始の目安

目標茎数を確保したことから、次の段階として充実した良質茎の確保、登熟歩合や千粒重を向上させるための健全な根づくりを進め、穂肥を指標どおり適期・適量行えるように、6月20日頃から作溝・中干しに入る。

目標茎数を下回っている場合は、引き続き浅水管理で分けつ発生を促進して、茎数確保しだい（裏面表2参照）、遅れずに中干しを開始する。

表2 中干しの開始の目安(品種別)

| 品種 | 指標穂数 (本/m ²) | 目標茎数(指標穂数の8~9割) | | |
|-------|-----------------------------|---------------------|-----------------|-----------------|
| | | (本/m ²) | 70株植/坪 (本/株) | 60株植/坪 (本/株) |
| つや姫 | 440 | 350 ~ 400 | 17 ~ 19 | 19 ~ 22 |
| 雪若丸 | 580 | 460 ~ 520 | 22 ~ 25 | 25 ~ 29 |
| はえぬき | 540 | 430 ~ 490 | 20 ~ 23 | 24 ~ 27 |
| コシヒカリ | 430 | 340 ~ 390 | 16 ~ 18 | 19 ~ 21 |
| ひとめぼれ | 500 | 400 ~ 450 | 19 ~ 21 | 22 ~ 25 |

2 中干しの程度を目安

下表を参考に、地力や生育量に合わせて中干しの期間を判断する。

表3 中干しの程度を目安

| | |
|---------------------|--|
| 地力並・生育並~良 | 7~10日間を目安に 、土壤水分に注意しながら小ひびが入る程度に中干しを行う。 |
| 地力高い・生育過多 (復元田) | 速やかに中干し に入る。 やや強めの中干し(11~15日間を目安に大きなひびが入らない程度の落水状態)が効果的。 |
| 地力低い・生育過多 (砂質土壌) | 葉色の低下状況を見ながら中干しを始め、7月に入ったら、穂肥までの期間、小ひびが入る程度に中干しを行う。 |

※生育が不足して6月末から中干しを開始した場合は、弱めの中干しを行う。

※中干しの期間(日数)は天候により調整する。中干し終了後は、走り水から間断かん水に。

◎中干しをしたうえで、ケイ酸追肥で丈夫なイネに！

ケイ酸施用の行うことで、光合成産物の増加、根の活力向上などの効果が見込める。中干しを適期にしっかりと実施したうえで施用する。

【 雪若丸 情報 】 生育が不足している場合の対応

～ 6月20日現在で茎数 300本/m²以下 (70株/坪で14本/株)
葉色 40以下 の場合 ～

○夜間落水や田干しを行って根圏環境を改善した後、窒素成分で1kg/10a程度を補完施用する。その後、浅水管理で分けつを促進し、6月中に有効茎を確保する。

 **熱中症予防強化月間** 定期的に水分と休憩を取りましょう 